



桶川市長

小野克典

夢と希望を未来につなぐ
持続可能なまちづくり

桶川市は、昭和45年11月3日、「桶川町」から、埼玉県下31番目の市として誕生しました。50年前は、人口3万8000人・9500世帯であった本市は、首都圏近郊の住宅都市として良好な住環境整備が進み、現在は、人口7万5000人・3万3000世帯のまちへと発展してきました。

近年は、圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の開通により、桶川市から全国へつながる新たな広域交通ルートが形成され、交通の利便性が飛躍的に向上し、また、首都高速道路（新大宮上尾道路）と圏央道の連結が計画されるなど、全国と首都圏を結ぶ交通の要衝として、まちの持つポテンシャルも益々高まっております。

こうした恵まれた地の利を生かし、現在、企業誘致を進めるとともに、駅東口整備事業など、将来のまちの発展に向けた事業を推進しております。また、市制施行50周年を迎える本年は、歴史的に価値の高い「旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場」（市指定有形文化財）の復原整備事業が完了し、「桶川飛行学校平和祈念館」として開館するなど、歴史を未来につなぐとともに、世界に向けて平和を発信する拠点施設が整備されました。

桶川は、古くは江戸から十里（約40km）に位置する、中山道6番目の宿場町として多くの人で賑わい、米や麦などの農産物を江戸に送る集積地としても栄えました。さらに江戸時代後期にかけては、山形の「最上紅花」に次ぐ全国2番目の紅花の生産量を誇り、最上地方が7月に収穫するのに対して、気候が温暖な桶川では6月に収穫することが出来たため、「早庭場もの」と呼ばれ、京都の商人に大変歓迎されました。

こうした歴史と文化の風薫る、自然豊かなまち「桶川」の魅力を、次世代へつないでいきたいと思います。

このたび、本市の歴史や文化、まちづくりの取り組みなどを紹介した市勢要覧を作成いたしました。多くの皆様にご覧いただき、発展し続ける本市の姿を知っていただければ幸いです。

桶川市勢要覧

目次

Okegawa City of Municipal Handbook / Index

市制施行50年特集

第1部「過去」 50年のあゆみ

第2部「未来」 未来へのあゆみ

桶川の四季

おけがわ魅力発信

べに花の郷

子育て

アクティビティ

市民活動

高齢者福祉

農業振興

にぎわいづくり

施設マップ

文化財が物語る 桶川市の歴史

キズナを育む連携協定

資料編 数字でみる桶川市50年の変化

桶川市の概要

35

32

31

25

23

21

19

17

15

13

11

9

7

5

1



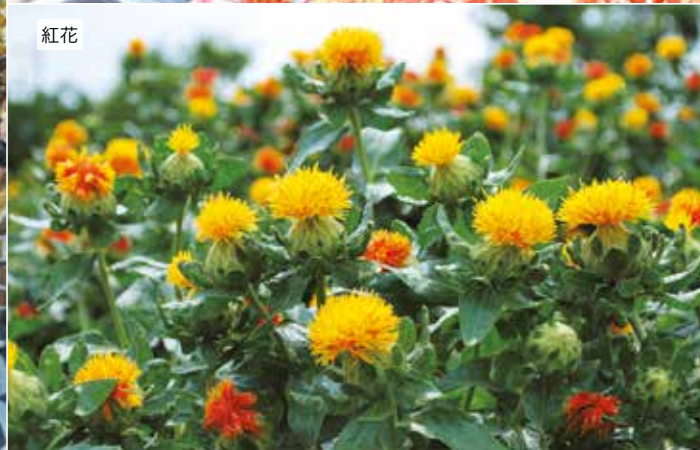
ホンダエアポートと富士山



桶川祇園祭 神輿連合渡御



市民まつり（皇女和宮行列）



紅花



桶川飛行学校平和祈念館



加納原地区企業誘致



桶川市役所・新庁舎



城山公園バーベキュー広場

和暦	西暦	月	桶川市での出来事
昭和45年	1970	11月	11月3日、市制を施行して桶川市となる
昭和46年	1971	4月	加納中学校が桶川東中学校と改称
昭和47年	1972	11月	太郎右衛門橋が永久橋として開通
昭和48年	1973	4月	県立桶川高等学校が開校
昭和49年	1974	4月	桶川西中学校が開校
昭和50年	1975	11月	移動図書館「むぎぶえ号」運行開始
昭和50年	1975	11月	「第1回桶川市民まつり」を開催
昭和51年	1976	3月	桶川市社会福祉協議会が設立
昭和51年	1976	10月	市（民）の花・木が決定
昭和52年	1977	12月	人口が5万人を超える
昭和52年	1977	4月	総合福祉センターがオープン
昭和52年	1977	4月	子ども公園わんぱく村がオープン
昭和52年	1977	7月	東公民館がオープン
昭和52年	1977	8月	新型塵芥処理場が稼動
昭和53年	1978	4月	農業センターがオープン
昭和53年	1978	4月	勤労福祉会館がオープン
昭和54年	1979	4月	三井精機桶川工場跡地に住宅公園の進出が決定
昭和54年	1979	4月	桶川東小学校が開校
昭和55年	1980	4月	県立桶川西高等学校が開校
昭和55年	1980	4月	日出谷小学校が開校
昭和55年	1980	11月	市制施行10周年記念式典を開催
昭和56年	1981	4月	市民憲章を制定
昭和56年	1981	4月	公共下水道処理を開始
昭和57年	1982	4月	加納中学校が開校
昭和58年	1983	11月	橋上駅がオープン
昭和59年	1984	6月	城山公園の一部がオープン
昭和60年	1985	4月	朝日小学校が開校
昭和60年	1985	2月	人口が6万人を超える
昭和61年	1986	4月	桶川駅開業100周年
昭和62年	1987	4月	城山公園多目的広場がオープン
昭和63年	1988	10月	駅西口公園がオープン
			桶川市立図書館・桶川公民館がオープン
			駅西口図書館がオープン

日本での主な出来事
1970年 4月5日 よど号ハイジャック事件
1971年 9月13日 大阪万博開催
1971年 7月20日 銀座にマクドナルド1号店
1972年 2月28日 あさま山荘事件
1972年 5月15日 沖縄復帰
1973年 12月10日 第1次オイルショック
1974年 12月10日 佐藤栄作がノーベル平和賞を受賞
1976年 2月24日 ロッキード事件
8月 「およげたいやきくん」大ヒット
1977年 9月3日 累計400万枚を売り上げ
1977年 9月3日 王貞治（読売巨人軍）、通算756本塁打で世界新記録
1978年 5月20日 成田空港開港
1978年 8月12日 日中平和友好条約の調印
1979年 1月13日 国公立大学、初の共通1次学力試験を実施
6月1日 第2次オイルショック
1980年 10月5日 歌手・山口百恵が引退
12月12日 日本の自動車生産台数が世界1位に
1981年 3月2日 中国残留孤児が初来日
1982年 4月1日 500円硬貨発行
12月1日 カード公衆電話・テレホンカード登場
1984年 11月1日 新札（1万円札、5千円札、千円札）発行
1985年 4月1日 電々公社民営化、NTT発足
9月30日 科学万博つくば'85開催
1986年 11月22日 三原山大噴火
12月 バブル景気始まる
1987年 4月1日 国鉄が分割しJRに
1988年 4月10日 瀬戸大橋開通

昭和45年：市制施行パレード



昭和50年：第1回桶川市民まつり



昭和46年：太郎右衛門橋開通式



桶川市上空



駅西口



1970



桶川駅



桶川市役所



2020

On November 3, 1970(Showa 45), Okegawa City came into effect as the 31st city in the prefecture. Fifty years ago, the population, which was about 30,000, increased with the times and exceeded 75,000 in June 2020. In addition to looking back on the transition of the city so far, we will introduce new facilities that will connect to the future of the city.

和暦		西暦		桶川市での出来事		日本での主な出来事	
和暦	西暦	桶川市での出来事	日本での主な出来事	和暦	西暦	桶川市での出来事	日本での主な出来事
平成18年	2006	人口が7万5000人を超える	2010年 6月13日 小惑星探査機「はやぶさ」地球に帰還	平成19年	2007	桶川南・桶川北小学校が統合され、桶川小学校が開校	2011年 3月11日 東日本大震災
平成20年	2008	新小針領家グラウンドがオープン	2011年 7月17日 FIFA女子ワールドカップ（サッカー）で日本が初優勝	平成21年	2009	本木雅弘さんに桶川市民栄誉賞（第1号）を贈呈	2012年 5月22日 東京スカイツリーオープン
平成22年	2010	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）川島IC～桶川北本IC間が開通	2013年 4月19日 世界大会13連覇でギネス認定	平成22年	2010	おけがわ市民花火大会を開催	2014年 4月1日 インターネット選挙活動解禁
平成22年	2010	桶川市マスコットキャラクター「オケちゃん」誕生	2014年 4月1日 消費税8%に引き上げ	平成23年	2011	市制施行40周年記念式典を開催	2015年 6月17日 選挙権18歳以上参議院で可決
平成24年	2012	後谷遺跡出土品が国の重要文化財の指定を受ける	2015年 6月17日 選挙権18歳以上参議院で可決	平成25年	2013	日出谷子育て支援センターがオープン	2016年 4月14日 熊本地震
平成25年	2013	教育センターがオープン	2016年 4月14日 熊本地震	平成26年	2014	日本初の水上太陽光発電施設「ソーラーオンザウォーター桶川」が竣工	2017年 8月23日 花咲徳栄高校が夏の甲子園で埼玉県勢として初優勝
平成27年	2015	市民活動サポートセンターがオープン	2017年 8月23日 花咲徳栄高校が夏の甲子園で埼玉県勢として初優勝	平成27年	2015	市役所仮設庁舎へ移転、業務開始	2018年 7月23日 熊谷で国内最高気温41.1度を記録
平成27年	2015	おけがわ市民花火大会2015を開催	2018年 7月23日 熊谷で国内最高気温41.1度を記録	平成28年	2016	OKEGAWA hon プラスがオープン	2019年 9月6日 北海道地震
平成28年	2016	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）桶川北本IC～白岡菟浦ICが開通	2019年 9月6日 北海道地震	平成28年	2016	市制施行45周年記念式典を開催	2019年 3月21日 イチロー選手が引退
平成29年	2017	国道17号上尾道路 1期区間が全線開通	2019年 3月21日 イチロー選手が引退	平成29年	2017	放課後子供教室を市内全7小学校で実施	2020年 4月30日 平成天皇退位礼正殿の儀
平成29年	2017	山形県飯豊町と「友好都市宣言」「災害時における相互応援に関する協定」を締結	2020年 4月30日 平成天皇退位礼正殿の儀	平成30年	2018	子育て世代包括支援センターが開設（後に愛称が「オケちやる」に決定）	2020年 5月1日 皇太子徳仁親王（即位。新元号「令和」）にラグビーワールドカップが日本で開催
平成30年	2018	坂田谷津谷遺跡公園がオープン	2020年 5月1日 皇太子徳仁親王（即位。新元号「令和」）にラグビーワールドカップが日本で開催	平成30年	2018	城山公園バーベキュー広場がオープン	2020年 9月1日 消費税10%に引き上げ
平成31年	2019	市役所新庁舎完成、業務開始	2020年 9月1日 消費税10%に引き上げ	令和元年	2019	スマイルピアザ坂田（坂田コミュニティセンター・坂田図書館）がオープン	2020年 4月7日 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令
令和2年	2020	西側大通り線が全線開通	2020年 4月7日 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令	令和2年	2020	桶川飛行学校平和祈念館がオープン	2020年 8月24日 安倍晋三首相が連続在任日数2799日に達し、歴代最長政権



平成31年:スマイルピアザ坂田(フレ
スポ桶川)がオープン



平成30年：城山公園バーベキュー広場がオープン



平成27年：圏央道、桶川北本IC～白岡
菖蒲IC開通



平成27年:おけがわ市民花火大会2015

和暦	西暦	月	桶川市での出来事	日本での主な出来事
平成元年	1989	5月	「第1回おけがわこどもまつり」を開催	昭和天皇崩御。平成に
平成2年	1990	11月	市制施行20周年記念式典を開催	消費税3%でスタート
平成3年	1991	3月	舍人スポーツ・パークがオープン	第1回大学入試センター試験
平成3年	1991	6月	桶川サン・アリーナがオープン	秋山豊寛さん、日本人初の宇
平成3年	1991	6月	地域福祉活動センターがオープン	宙飛行
平成3年	1991	11月	人口が7万人を超える	横綱千代の富士が引退
平成4年	1992	4月	保健センターがオープン	雲仙普賢岳で大火砕流
平成4年	1992	8月	川田谷生涯学習センター（川田谷公民館・桶川市立図書館川田谷分室）がオープン	PKO協力法成立
平成4年	1992	10月	富士見ホテル親水公園がオープン	バルセロナ五輪・平泳ぎで岩
平成4年	1992	11月	歴史民俗資料館がオープン	崎恭子が最年少の金
平成6年	1994	10月	滝の宮立体交差（べにばな陸橋）が開通	きんさん・ぎんさん満100歳
平成7年	1995	1月	べに花の郷づくり事業を開始	日本初の多党派連立政権発足
平成8年	1996	6月	「第1回べに花まつり」を富士見ホテル親水公園で開催	阪神淡路大震災
平成8年	1996	11月	「べに花の郷づくり事業」彩の国モデル顕彰を受賞	地下鉄サリン事件
平成9年	1997	1月	公文書公開制度と個人情報保護制度を開始	ウインドウズ95発売
平成9年	1997	1月	「市民の歌」の歌詞が決定	若田光一さん宇宙へ
平成9年	1997	10月	駅西口通りを電線地中化	消費税5%に引き上げ
平成9年	1997	11月	響の森（桶川市民ホール・さいたま文学館）がオープン	東京湾アクアライン開通
平成10年	1998	2月	県道川越栗橋線バイパス（下日出谷～川田谷）が開通	郵便番号7桁に
平成11年	1999	1月	市役所分庁舎が上日出谷へ移転	若貴兄弟横綱誕生
平成11年	1999	2月	桶川市観光協会を設立	2000円札発行
平成11年	1999	10月	駅西口公園・桶川市民ホール地区が「景観形成事例部門（小空間レベル）」で都市景観大賞を受賞	三宅島噴火で島民避難
平成12年	2000	7月	べに花ふるさと館がオープン	FIFAワールドカップ（サッ
平成12年	2000	11月	市制施行30周年記念式典を開催	カー）が日本と韓国で共同開催
平成13年	2001	4月	市内循環バス（べにばなGO）の本格運行開始	拉致被害者のうち5人、24年
平成13年	2001	6月	富士見通り線（アンダーパス）が開通	ぶりに帰国
平成14年	2002	6月	ファミリー・サポート・センターの事業を開始	地上波デジタル放送が開始
平成15年	2003	11月	第17回中山道宿場会議「桶川宿大会」を開催	新潟中越地震
平成16年	2004	10月	彩の国まごころ国体バスケットボール競技・自転車競技大会を開催	夕張市が財政破綻
平成16年	2004	11月	全国障害者スポーツボウリング競技大会を開催	郵政民営化スタート
平成18年	2006	6月	子育て支援センターがオープン	リーマンショック
				裁判員制度スタート



平成16年:彩の国まごころ国体



平成13年：市内循環バス（「べにばなGO」）本格運行開始



平成6年:べにばな陸橋渡り初め

早期完成に向け整備中

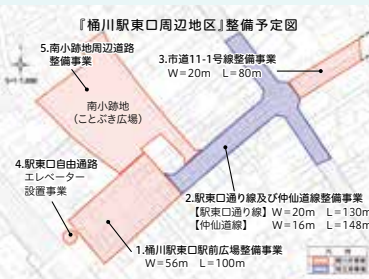


桶川駅東口駅前広場イメージ図
※変更の可能性があります。

桶川駅東口整備事業

桶川駅東口周辺地区の次の整備を進めています。

- 1 桶川駅東口駅前広場整備事業
- 2 駅東口通り線(駅前広場から中山道まで)及び仲仙道線(駅通りとの交差点部)整備事業
- 3 市道11-1号線(仲仙道線と駅東口通り線との交差点部周辺まで)整備事業
- 4 駅東口自由通路エレベーター設置事業(令和元年7月14日に使用開始)
- 5 南小跡地周辺道路整備事業



桶川駅東口周辺地区の整備

2021年稼働開始



加納原地区企業誘致

加納中学校北側に位置する約6.3ヘクタールの区域を企業誘致の事業地とするもので、2021年の操業を目指しています。



道の駅整備事業

圏央道や上尾道路などの広域交通網の結節点という地の利を活かし、「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」「防災機能」を持った、道の駅「(仮称)おけがわ」の整備に、公共と民間が連携して取り組んでいます。

開業に向けて整備中



2020年8月 Open!

桶川飛行学校平和祈念館

1937(昭和12)年に設置された旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場を復原整備して開館。飛行学校の歴史や文化財である建物群から、そこで学んだ若者の姿や当時の飛行技術に触れることで、子どもをはじめとしたあらゆる世代へ平和の尊さを発信し、平和を尊重する社会の実現と地域の振興を目指します。



桶川分教場での学校生活



兵舎棟内寝室の復元



当時の写真・
装備品



旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場とは

1937(昭和12)年6月の設置から1945(昭和20)年2月までの間、少年飛行兵や特別操縦見習士官などの実技教育施設でした。戦争末期には特別攻撃隊の訓練場となり、昭和20年4月には、特攻隊員12人を鹿児島県知覧基地に送っています。



2019年4月 Open!

公民複合施設「フレスポ桶川」

坂田コミュニティセンターと坂田図書館の公民複合施設「スマイルピアザ坂田」と、民間施設のスーパーマーケットやドラッグストア等が複合した施設です。地域生活の拠点として公共と民間が連携し、施設を運営しています。



2018年5月 Open!

市役所新庁舎

新たな市民サービスの拠点として業務がスタートした市役所新庁舎。次の4つのコンセプトでつくられています。

- 立地特性・周辺環境等に配慮した庁舎
- 防災・災害復旧拠点としての役割を果たす庁舎
- 自然エネルギーの活用や省エネルギー化等による環境負荷の低減に配慮した庁舎
- 市民が利用しやすく、時代の変化に柔軟に対応可能な庁舎



2018年4月 Open!

城山公園バーベキュー広場

城山公園の西部に位置し、駐車場と直結する野外卓とかまどの「施設エリア」と、各自の器材を利用する「持込みエリア」にわかれています。施設エリア(8区画)は区画あたり15人程度、持込みエリア(区画なし)は全体で200人程度が利用できます。

未来へのあゆみ

桶川の新たな50年、夢と希望が持てるように、さまざまな事業を進めています。ハード面だけでなく、子育てや健康長寿といったソフト面での整備も進め、真の暮らしやすいまちを目指します。

Okegawa has begun many projects with hopes and dreams for the next 50 years. We aim to be a comfortable town to live in, and are working to improve not only tangible aspects, but also intangible aspects, such as child-rearing, health, and longevity.



OKEGAWA hon プラス+ 2015年10月 Open!

図書館と大型書店とを隣接させて、一体感のある図書館運営を展開しています。蔵書や閲覧席、子ども向けスペースを増やすなど図書館面積を約2.5倍に広げ、大型書店との相乗効果で幅広い層に読書に関心を持ってもらえるように、さまざまなイベントも開催しています。

